

令和3年度 第2回大田区高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議

1 Web・参集型の併用による会議開催にあたっての意見聴取について

令和3年10月25日（月）開催の「令和3年度第2回大田区高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進会議」について、新型コロナウイルス感染症再拡大防止の観点から、Web会議と参集型会議の併用にて開催することとした。

いずれの方法でも参加が困難な委員には、会議資料と同時に意見書用紙を送付し、令和3年10月20日（水）を期限に意見書の提出を依頼した。いただいた意見・質問について、以下のとおり一覧としてまとめた。一覧は、委員及び庁内委員に会議の参考資料として電子メール又は机上配布等により、情報提供する。

2 各委員からの質問

下記に、各委員からいただいた質問をまとめる。

資料 番号	ご質問と回答要旨
1	<p>“受給率”について、新型コロナウイルス感染症との関係性をどのように考えていますか？</p> <p>【回答要旨】</p> <p>資料番号1の4ページ、3－（1）にお示ししている、受給率については平成30年度からはほぼ一定の割合で増加をしているため、総体的に大きな影響はないかと思われま。しかしながら、事業別の受給率やサービスのニーズには影響を及ぼしている点があります。</p> <p>資料には令和2年度のみ掲載となっておりますが、6ページの各サービス別の受給率を令和元年度と比較した場合には、通所系のサービスは減少傾向にあり、訪問看護や福祉用具貸与、訪問リハなどの自宅で提供されるサービスは増加傾向にあります。令和3年度においては令和元年度に比べ、通所系サービスも増加傾向にあります。</p> <p>また、大田区においても今年4月には2か所の定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所が開設するなど、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者のニーズが変化していることが考えられます。</p>
1	<p>“1人あたりの給付費”について、新型コロナウイルス感染症との関係性をどのように考えていますか？</p> <p>【回答要旨】</p> <p>7ページにお示しをしているグラフの通り、第1号被保険者一人あたりの給付費は平成29年度以降増加傾向にあります。</p> <p>受給者数や給付費について、事業別に見た場合には、新型コロナウイルス感染症の影響により、通所介護や地域密着型通所介護の受給者数が減ったものの、事業者は介護報酬の請求にあたり上位区分での報酬算定が可能になることや、利用者</p>

	のもとへ訪問を行うことでも算定が可能になるなどの措置がありました。そのようなことも踏まえ、給付費および一人当たり給付費への影響は少なかったものと捉えております。
1	<p>“計画対比”について、新型コロナウイルス感染症との関係性をどのように考えていますか？</p> <p>【回答要旨】</p> <p>平成30年度～令和2年度の第7期計画期間の給付費を総体的に見た場合には、増加しました。2の回答内容と重複いたしますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、通所系サービスの利用者が減少したこともありました。上位区分での報酬算定が可能になるなどの措置がありました。事業別に見た場合に、新型コロナウイルス感染症による受給者数の変動などはありませんが、総体的な給付費は、第7期計画期間を通じて伸びており、影響は軽妙であったと捉えております。</p>

3 各委員からの意見

以下に、各委員からいただいた意見をまとめる。

資料番号	ご意見
全般	<p>内容について特に意見はありませんが、当方の事業から見た状況も踏まえて、コロナ禍における影響を介護予防という視点でお話しさせていただきたいと思っております。</p> <p>昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大によって、全ての年齢層が大きな影響を被ったことは周知のとおりです。</p> <p>シルバー人材センターは、リタイア後の元気高齢者が、軽度な就労を通して生きがいを見つけるという事業を行ってまいりましたが、やはり経済活動の縮小によって、就労打ち切りになった事例も少なくありません。また当方の活動では、地域における社会奉仕活動や会員同士の集まりなどの事業も休止せざるを得ない状況が続いております。</p> <p>高齢者が就労などを通し、体を動かしたり頭を使うことは、フィジカルまたメンタルな面での介護予防となり、とても重要なことだと考えております。このことは、当方の会員のみならず、外出や日常活動に一定の制限をかけられた、全ての高齢者に当てはまることだと思っております。</p> <p>一時も早く新型コロナウイルス感染症が収束するとともに、介護予防事業や元気高齢者事業がこれまで以上に充実して実施されますよう、期待しております。</p>
1	<ul style="list-style-type: none"> ・受給率及びサービス別受給率の考察（P6） ・「○」上から1つ目について <p>→重度認定率高い、在宅志向の観点から、従事者向けに対して 重度者への自立支援に関してのサービスの教育が必要と思えます</p>

	<p>計画的に、研修ができる体制づくり必要だと思います 例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①在宅でできるリハビリテーション ・②訪問看護と通所介護事業者等の多職種連携の事例紹介 ・③自立支援目指した 好事例のケアプランの紹介・・・等 <p>*必要時は、介護サービス団体連絡会等の各連絡会に、 委託も良いと思います、提案致します</p>
1	<ul style="list-style-type: none"> ・受給率及びサービス別受給率の考察 (P6) ・「〇」上から3つ目について ・特定施設 (有料老人ホーム)、認知症対応型協働生活介護の入居者の重度化を懸念しています ・重度化の予防の観点から、従事者向けに対して上記内容と類似しますが重度者への自立支援に関してのサービスの教育が必要と思います <p>計画的に、研修ができる体制づくり必要だと思います 例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①在宅でできるリハビリテーション ・②レクリエーションと機能訓練の紹介 ・③自立支援目指した 好事例のケアプランの紹介・・・等 <p>*必要時は、介護サービス団体連絡会等の各連絡会に、 委託も良いと思いますので、提案致します</p>